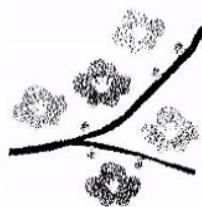


松友会だより

編集 松友会
新聞編集委員



進むべき道は悩んだ末に

清永 辰生

三月五日は啓蟄で、徐々に温暖の気が増してきて、春らしい陽気となり初雷がとどろき、冬眠の虫や生物が目覚め穴から出てきます。又、春分の日を中心に前後三日間がお彼岸、気候の変わり目「暑さ寒さも彼岸まで」と云われます。

生きていけば大きな問題を抱える時もあるれば、ささいなことでも思い煩う時もあり、ちっぽけなことで悩んでいると、自分自身をつまらない人間だと思ってしまうかもしれない。

悩みは人を成長させるものです。空海は順風満帆な人生を歩んだわけではありません。二十四歳の時の著書「三教指帰(さんこうしいき)」によれば、親族から出家を反対され大いに悩んだようです。其の後、遣唐使として唐に渡り修行を積み、多くの教典や曼荼羅、法具などを日本に持ち帰りましたが、命がけの危険な旅に出るかどうかについても、きつと悩んだはず。

空海は次の言葉を残しています。「経路未だ(けいろいまだ)知らず。岐(ちまた)に臨(のぞ)んで幾たびか泣く」「どれが正しい道なのかわからず、分かれ道を前にして何度も泣いた」と書かれています。涙を流すほどの重大な悩みだったのか、あるいは楽な道を選んでしまったのか、自分自身が情けなくなつて泣いたのか、いずれにしても空海が本気で悩んだことは想像出来ます。

悩んでいるとき脳はフル回転していません。さまざまな情報を集め、あらゆる可能性を考えながら結論を見いだそうとします。それは人間として成長していくうえで、必要な鍛錬ともいえます。悩んだあとの結論には大きな価値があるはず。歩きだした道の途中でまた逆らうこと、あつたらそのときは悩み、そしてまた何度でも悩んで新たな道を探し出せばいい、「人生は選択の連続です」その場その時で、決断しなければならぬことばかり、塾考して答えを出すときもあれば、瞬時に結論を出す必要にせまられる場合もある。そこで役に立つのが「悩む力」でしょう。

普段から大いに悩んで自分自身の正解にたどりつけるように、研鑽(けんさん)を積みたいたいものです。

暮らしの中の仏教語

「シヤリ」

「飯を「シヤリ」と呼ぶことがあります。漢字で書けば「舍利」になります。仏教では茶毘(だび)に付されたお釈迦様の遺骨を「仏舍利」といい、最も尊いものとされています。その尊い舍利が、ご飯という意味で使われるようになったのはなぜでしょうか。

「小さく白い米粒が仏舎利のようだった」「お釈迦様の遺骨を納めた容器がお茶碗に似ていた」「仏教では食事を摂ることも修行で、感謝と畏敬の念で、食事には欠かせない「飯を舍利と呼ぶようになった」などの説が唱えられています。

三月度の主たる行事のご案内

立春とはいえ、寒い日が続きます。皆様にはお健やかに過ごしのことと存じます。桜のつぼみが膨らむのが待ち遠しいこの頃です。インフルエンザの流行も気にしながらコロナ対策にも細心の注意を払って下さい。皆様これまで以上に健康管理に気をつけて元気に過ごしましょう。

☆月例会 三月九日(土)

午後一時より開催します。

内容は一月に白寿(九十九)を迎えられた会員、黒田千代子さんに「河内音頭」を披露していただきます。お楽しみに！

☆四月例会は総会です。四月十三日(土)

午前十時より開催します。

☆三月誕生月の皆さんです。

紙面にてお祝い申し上げます。

山村 誠子
山村 和敏
山野 悦子
畑 正健
西 鷹男
丹生 澄子
小坂 篤子
樋上 弘子
以上9名
(敬称略)

【伝言板】

☆再生资源回収
三月十四日(木)宝塚 川西地区
三月二十六日(火)川西地区
皆さん、いつもご協力をいただき有難うございます。
引き続きよろしくお願い致します。

☆訃報

一月 榎野伸夫様(宝塚)が永眠されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

※松友会だよりの原稿をお待ちしております。雑感、紀行文、日記、日々の生活、短歌、俳句、川柳、思い出話など何でも結構です。お寄せください。

お近くの班長、役員へご連絡いただければ嬉しく思います。

地域の皆様のご協力有難うございます。今後も再生资源の回収にご協力お願い致します。

月別再生资源回収成果

令和6年1月分

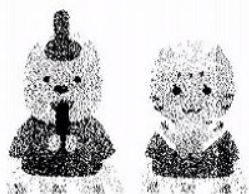
新聞紙	970 kg
雑誌	240 kg
布類	120 kg
段ボール	340 kg
合計	1,670 kg
回収奨励金 (@ 円)	円

ご協力ありがとうございました。

3月 行事予定

(予定表は変更される場合があります)

日	曜	行事	時間
2	土	カラオケ	13:00~16:00
5	火	健康体操	10:00~11:30
9	土	月例会	13:00~15:00
12	火	麻雀	13:00~16:00
13	水	まつがおかサロン	13:00~15:00
14	木	再生资源回収(宝塚・川西)	~8:30頃
16	土	カラオケ	13:00~16:00
19	火	健康体操	10:00~11:30
20	水	三味線伴奏	13:30~14:30
23	土	まつぼっくり	10:00~11:30
23	土	編集会議	14:00~15:00
26	火	麻雀	13:00~16:00
26	火	再生资源回収(川西)	~11:00頃



日本に文化の種を蒔いた男
黒田 千代子(九九歳)

「ジョン万次郎」こと中浜万次郎の人生には「教奇な運命」という言葉がぴったり。土佐の貧しい漁師の家に生れた万次郎は、十四歳のとき、仲間と漁へ出て遭難。漂流七日、絶海の孤島「鳥島」に上陸しました。過酷な無人島生活で気力・体力・限界に達するなか、漂流から百四十三日目に米国の捕鯨船ジョン・ハウランド号が現れ、少年たちは救出されます。万次郎は喜びを爆発させ、嬉々として船員たちの手伝いをしたので、誰からも可愛がられました。やがて万次郎は、船名にちなんで「ジョン・マン」の愛称で呼ばれるようになり、船長は万次郎を除く四人をハワイで降ろし、万次郎だけ米本土へ連れて帰りました。彼に教育を受けさせてやりたいと願ったからです。

ある日、船長は万次郎をつれて教会を訪れると、「白人ではない」という理由で万次郎だけ拒絶されます。すると船長はその教会と絶縁し、万次郎を受け入れてくれる教会に宗旨替えをしたそうです。船長の愛情の深さが伝わってきますね。

やがて捕鯨船の乗組員になった万次郎は数年の航海を経て、仲間と共に帰国を果たします。万次郎二十四歳、ペリー来航の二年前に当たる一八五一年のことでした。万次郎は琉球から薩摩へと送られ、薩摩藩主・島津斉彬(なりあきら)が選抜した家臣団に、航海術や船舶知識を教えました。数年後、薩摩藩は日本初の国産蒸気船の建造に成功します。翌年、万次郎は念願叶い遂に故郷へ。土佐藩では絵師・河田小龍(しよりうりょう)が万次郎から西洋事情を聞き書きしていきました。

のちに小龍の元へ、ある若者が通うようになります。若者は米国の合理的な考え方に感動し、新時代の構想をまとめました。その若者の名は坂本龍馬。さらに土佐の藩校の教授となつた万次郎は、岩崎弥太郎に海運・造船・保険などの知識を教えます。これがのちの三菱の事業に生かされるのです。その後咸臨丸で渡米した万次郎は、福沢諭吉に「ウエブスター辞典」の購入を勧めました。

この辞典は諭吉の大切なパートナーとなり、彼の著作活動を支えていきます。

こうして万次郎の蒔いた種は、いくつもの大輪の花を咲かせました。この奇跡は、万次郎の並外れた精神力と愛される人柄がもたらしたものでしょう。彼は終生ホイットフィールド船長への感謝を忘れることはありませんでした。両家の子孫は今も交流を重ね、友好の絆を育(はぐく)んでいそうです。

救急車で運ばれて

田中 紀美子

一月十九日午前一時頃より脈拍が一五〇と高く、なかなか下がらないので救急車を要請、市立宝塚病院に行く。

胸の動悸は平常に戻ったが、虫垂部位に影がCT検査で発見、かかりつけの市立池田病院にて、詳しく診てもらうために入院しました。

五階の病室からは五月山を一望しての生活で、トンビがくると輪を回しての光景を目撃。今まで想像も出来なかつた毎日でした。

私の症状の動悸は治まったが、虫垂部位を詳細にCT検査で調べ、組織を採集し、調査中です。今後は外来での対応で行うことになったので、二月一日に退院しました。

市立池田病院はコロナ等の感染予防に厳しく、面会が出来ず、主人とも遠くからバイバイの状態です。でも一番ありがたかつたのは、スマホという利器に頼る毎日でありました。多くの皆さん方の激励に感謝・感謝。

青い空 脈打つ音に 一安心



おやつ

我々の祖先は、この地で農耕を始めて以来、朝夕の食間に軽食を取ったこともありましたが、一般的には一日二食の習慣を長く続けたようです。ところが、江戸時代中頃までに一日二食から三食に移行し、更に昼食後も夕食までの間に間食を取るようになりました。間食の時間帯が「八つ時」(一二支の8番目、午後1時から3時)であったことから、これをおやつと呼ぶようになったそうです。

特に上流階級の間では、おやつは空腹を満たすだけでなく、お菓子のようにそれぞれが口に合った甘いものを楽しむ傾向へ移つたといわれます。江戸幕府8代將軍の徳川吉宗侯が、砂糖の国産を奨励した結果、流通量が増加して貴重品ながらも中産階級にも手の届く値段となつたのが理由です。戦国時代以降、ヨーロッパからキリスト教宣教師や商人などによって持ち込まれた金平糖やカステラは超高級品で、一般民には到底手の届く食品ではありませんでした。

砂糖の普及につれて、それまでは江戸や京都に限られた菓子屋が、漸次地方都市にまで普及するようになり、庶民も砂糖を使ったお菓子を口にすることが出来るようになりました。各地でそれぞれ饅頭や羊羹などの名物菓子が生まれるようになったのもこのころです。

明治の初頭、近代風の時制採用以降、おやつは「お三時」とも呼称されましたが、「おやつ」の名称は今なお健在のようです。

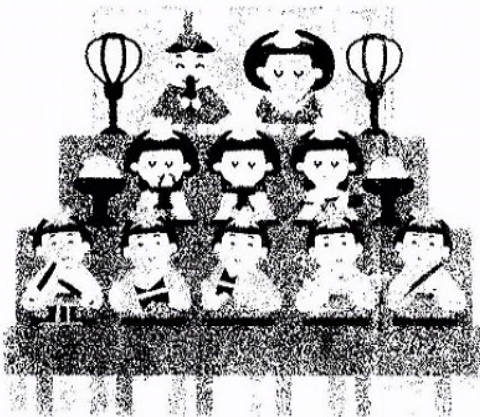
ところで、講談などにしばしば出てくる「草木も眠る丑三つ(うしみつ)どき」は、昔の時法の丑の刻を4分したその第三の始まりの時刻、現在の午前一時から三時ころで、しばしば真夜中の意に用いられました。この時間帯に、妖怪や夜盗が活動したようです。

参考までに、十二支トツプの子の刻は0時、以下丑の刻は2時、8番目、八つの羊が14時、最後12番目の酉が22時です。(いずれも各時間帯のアバウトの中心値)

おわり 和泉記

川柳 (六首)

同窓会 肩書き捨てぬ 奴がいる
針に糸 無理だが入る 鼻に指
エアコンも 暑い寒いで 忙しい
流し目で 注意されたよ 視野検査
寿命延び 健康寿命 追いつけず
八十年 使えばゆるむ そこかしこ
(作者不明)



編集後記

寒さのうちにも、三月の声を聞くと、急にくつろいだ気分になります。「お水取」が済むと待ち遠しい春です。季節の変わり目、毎日を元気で過ごして下さい。

T K